



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月29日

上場会社名 株式会社 光陽社

上場取引所 東

コード番号 7946 URL <http://www.koyosha-inc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 犬養 岬太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 富 正俊 TEL 03-5615-9061

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2020年7月31日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,302		13		9		36	
2019年3月期								

(注) 包括利益 2020年3月期 35百万円 (%) 2019年3月期 百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	32.46		1.6	0.2	0.3
2019年3月期					

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 2020年3月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の数値及び対前年増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,068	2,338	57.5	2,095.56
2019年3月期				

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,338百万円 2019年3月期 百万円

(注) 2020年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期については記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	141	313	104	1,292
2019年3月期				

(注) 2020年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		20.00	20.00	22	14.9	1.0
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	7.0	19		2	79.6	0	100.0	0.00

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社ニコモ、株式会社ノコム、除外 社 (社名)

当社は、第1四半期連結会計期間において、株式会社ニコモ(2019年4月1日設立)と株式会社ノコム(2019年4月15日設立)の特定子会社を2社設立いたしました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	1,400,100 株	2019年3月期	1,400,100 株
期末自己株式数	2020年3月期	284,306 株	2019年3月期	284,006 株
期中平均株式数	2020年3月期	1,115,926 株	2019年3月期	1,165,498 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,296	3.6	39	57.6	64	50.8	91	39.2
2019年3月期	4,456	3.7	93	36.0	130	26.0	149	67.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	81.55	
2019年3月期	128.52	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	4,122		2,392		58.1		2,144.66	
2019年3月期	4,176		2,324		55.7		2,083.01	

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,392百万円 2019年3月期 2,324百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	4
連結損益計算書	4
連結包括利益計算書	5
(3) 連結株主資本等変動計算書	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費増税、自然災害や大国間の貿易摩擦等があったものの、経済対策などにより企業収益、雇用の改善及び個人消費の持ち直しにより緩やかな回復基調となりました。しかしながら、終盤での新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済への影響が深刻化し、景気が急速に悪化いたしました。

印刷業界におきましては、用紙価格の上昇、電子メディアの多様化による印刷物の需要の減少、受注価格の下落、イベントの中止に伴う印刷メディアの減少など、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社は、お客様のニーズに応えるべく、引き続き営業力・提案力の強化を図り、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に、より一層注力するとともに、生産効率の向上、更なる内製化の推進により、売上の拡大、収益性の改善に取り組んでまいりました。更に、事業基盤の充実を図るために、子会社2社を設立いたしました。

以上のとおり、経営全般にわたる諸施策の展開に努めた結果、当連結会計年度における売上高は43億2百万円となりました。その内訳は写真製版売上高10億45百万円、印刷売上高31億99百万円、商品売上高57百万円となりました。損益面においては、営業損失13百万円、経常利益9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益36百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の流動資産は、25億38百万円となりました。有形固定資産は12億79百万円、無形固定資産は25百万円、投資その他の資産は2億24百万円となり、固定資産合計は15億29百万円となりました。以上の結果、資産合計は40億68百万円となりました。

当連結会計年度末の流動負債は8億84百万円、固定負債は8億45百万円となり、負債合計は17億29百万円となりました。当連結会計年度末の純資産合計は23億38百万円となり、負債・資本合計は40億68百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローで1億41百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで3億13百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで1億4百万円減少し、資金は2億76百万円減少となり、当連結会計年度末残高は12億92百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末において営業活動における資金は、1億41百万円の増加となりました。これは主に税引前当期純利益1億4百万円、減価償却費1億69百万円、投資有価証券評価損24百万円の資金の増加に対して、補助金収入1億円、その他の流動負債の減少額24百万円、有形固定資産売却益20百万円の資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末において投資活動における資金は、3億13百万円の減少となりました。これは主に定期預金の払戻による収入2億円、補助金の受取額1億円、有形固定資産の売却による収入20百万円の資金の増加に対して、有形固定資産の取得による支出3億81百万円、定期預金の預入による支出2億円、投資有価証券の取得による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出22百万円の資金の減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末において財務活動における資金は、1億4百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済による支出82百万円と配当金の支払額21百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループの属する印刷事業においては、従前からの電子メディアの多様化による印刷物の需要の減少、受注価格の下落等の厳しい経営環境が続く中で、新型コロナウイルスの感染拡大防止による経済活動の収縮も想定されます。

このような状況において、当社は、長年培ってまいりました経験・知見を生かし、時代のニーズに即した新たな視点での営業提案により、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力いたします。更に、印刷ワンストップ体制を活かした営業やプリントマネジメントの提案を通じ、お客様のニーズ・課題を解決し、より大きな付加価値をお客様にご提供することにより売上の確保・拡大を目指してまいります。

また、生産技術及び生産効率の向上によるコストダウンを更に推進し、構造的な収益性をより一層高めてまいります。

次期の業績見通しにつきましては、イベント中止などの経済活動の収縮の影響を受ける中で、生産から営業まで諸施策を着実に展開することにより、売上高4,000百万円、営業損失19百万円、経常利益2百万円、親会社に帰属する当期純利益0百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

当連結会計年度 (2020年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,422,311
受取手形及び売掛金	812,689
電子記録債権	127,625
商品	5,648
仕掛品	95,705
原材料及び貯蔵品	23,570
その他	52,279
貸倒引当金	△1,094
流動資産合計	2,538,737
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	628,372
機械装置及び運搬具(純額)	418,120
土地	209,412
その他(純額)	23,807
有形固定資産合計	1,279,713
無形固定資産	
その他	25,459
無形固定資産合計	25,459
投資その他の資産	
投資有価証券	4,574
繰延税金資産	51,496
その他	171,293
貸倒引当金	△3,081
投資その他の資産合計	224,282
固定資産合計	1,529,455
資産合計	4,068,192
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	667,714
1年内返済予定の長期借入金	66,168
未払法人税等	9,138
賞与引当金	55,577
その他	85,503
流動負債合計	884,101
固定負債	
長期借入金	414,395
退職給付に係る負債	431,480
固定負債合計	845,875
負債合計	1,729,976
純資産の部	
株主資本	
資本金	100,000
資本剰余金	2,111,916
利益剰余金	554,031
自己株式	△428,159
株主資本合計	2,337,788
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	428
その他の包括利益累計額合計	428
純資産合計	2,338,216
負債純資産合計	4,068,192

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	4,302,024
売上原価	3,513,761
売上総利益	788,262
販売費及び一般管理費	801,879
営業損失(△)	△13,616
営業外収益	
受取利息	48
受取配当金	182
作業くず売却益	20,415
その他	9,047
営業外収益合計	29,693
営業外費用	
支払利息	3,768
支払補償費	1,060
創立費償却	659
開業費償却	787
営業外費用合計	6,275
経常利益	9,800
特別利益	
固定資産売却益	20,149
補助金収入	100,000
特別利益合計	120,149
特別損失	
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	24,999
特別損失合計	25,000
税金等調整前当期純利益	104,950
法人税、住民税及び事業税	9,156
法人税等調整額	59,573
法人税等合計	68,729
当期純利益	36,221
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	36,221

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)		36,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△241
その他の包括利益合計		△241
包括利益		35,979
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益		35,979

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,111,916	540,132	△427,884	2,324,163
当期変動額					
剰余金の配当			△22,321		△22,321
親会社株主に帰属する 当期純利益			36,221		36,221
自己株式の取得				△275	△275
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	13,899	△275	13,624
当期末残高	100,000	2,111,916	554,031	△428,159	2,337,788

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	669	669	2,324,833
当期変動額			
剰余金の配当			△22,321
親会社株主に帰属する 当期純利益			36,221
自己株式の取得			△275
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△241	△241	△241
当期変動額合計	△241	△241	13,382
当期末残高	428	428	2,338,216

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	104,950
減価償却費	169,857
繰延資産償却額	1,446
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,658
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,568
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,109
有形固定資産除却損	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△20,149
補助金収入	△100,000
売上債権の増減額(△は増加)	△12,947
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,945
その他の流動資産の増減額(△は増加)	778
仕入債務の増減額(△は減少)	849
未払金の増減額(△は減少)	2,465
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,467
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△24,421
投資有価証券評価損益(△は益)	24,999
受取利息及び受取配当金	△230
支払利息	3,768
その他	8,282
小計	153,927
利息及び配当金の受取額	230
利息の支払額	△3,714
法人税等の支払額	△8,868
法人税等の還付額	110
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	
短期貸付けによる支出	△4,990
短期貸付金の回収による収入	4,990
定期預金の預入による支出	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000
投資有価証券の取得による支出	△25,000
繰延資産の取得による支出	△1,446
従業員に対する貸付けによる支出	△2,560
従業員に対する貸付金の回収による収入	2,390
有形固定資産の取得による支出	△381,272
有形固定資産の売却による収入	20,150
無形固定資産の取得による支出	△22,661
差入保証金の差入による支出	△1,380
差入保証金の回収による収入	116
補助金の受取額	100,000
その他	△1,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,406

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△82,035
自己株式の取得による支出	△275
配当金の支払額	△21,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,025
現金及び現金同等物の期首残高	1,568,337
現金及び現金同等物の期末残高	1,292,311

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、印刷関連事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
カルネコ株式会社	529,840

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,095.56円
1株当たり当期純利益	32.46円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	36,221
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	36,221
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,115

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,338,216
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,338,216
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	1,115

(重要な後発事象)

該当事項はありません。